

第767回例会 - 姫島観光リポート



計画委員会
委員長 中願寺 龍雄

コンかえ～!



家族例会、心配していた台風も通り過ぎ、良い天気となり安心しました。伊美港より一九九トンある姫島丸に乗り姫島へ。地元の話では、姫島の盆は、きつね踊りで三日三晩賑わうそうです。お祭りの時に行ってみてくださいね！姫島では、美味しい活えびや、盛り沢山の海の幸を食べながら食事をして、のんびりと、日頃忙しい気分を、ゆつたりとごませ、心の洗濯をしたようでした。また、自転車を借りて島巡りをされた方もあります。食事を済ませ、つり舟の説明を聞き、昭和村のボランティアの方によるお話や、懐かしい風景をみながら昔をしのび、ついで懐かしく手にとってみたり、お土産ものを買って帰りました。また、できたてのあつあつの手作りコロッケおいしかったです。

皆様の御協力のおかげで楽しいひとときが過ごせました。家族例会も予定通り事故も無く終りました事、感謝しております。

りんどう
LC通信
かわら版

平成15年
6月27日
第11号

PR委員会発行

スケジュール (日時) 平成15年6月1日(日) 出発7:00 場所) 大分県姫島、豊後高田



第1期PR委員会一同

PR委員長 鶴 清彦

第一期PR委員会より
皆様へ御礼の言葉。

今期初めての試みで年四回の会報誌の他に、身近な情報を逸早く会員の皆様にお知らせする意図で始めた訳で御座居ます。振り返ってみますと、昨年L.穴見の勲六等単光旭日章受章の記事から始まり、写真クラブの筑後川花火大会、久住花公園、長崎ランタンフェスティバル、撮影会の案内、ゴルフクラブ情報、釣りクラブ情報、L.柴田・L.泉・L.松尾の久留米芸能祭出演、L.藤木の長男誕生、L.津福の筑後の一条付近の新工場の記事、等が思い出されます。皆様への原稿依頼に対しての御協力によりまして好評のうちに終了することが出来ました。PR委員会一同御礼申し上げます。来期も継続される予定の様子、御健闘を期待しております。最後に、L.菊池の協力は大きかったです。最後に、L.菊池の協力は大であった事を付け加えて今期最後のかかわら版を終らせていただきます。

大声狎語

戒名に「院」や「殿」を付けてもらおうと戒名代は少々高こうござんすよ。イヤ、せ二ばかりではありませんが亡くなった人の生前の徳功にもよります。戒名は何も「タダ」じゃない。戒名は何も寺の坊さんに頼まなくても自分で考えて作った方がいいんです。私は今から自分の戒名を考えているところです。遺言状を書くよりこっちの方がおもしろそうです。さて、亡くなった後の遺体は火葬か土葬か(これにも長々とした歴史があっておもしろい)今は土葬は日本では禁じられています。火葬はインドの習慣です。みんな「空」になっていくわけですね。中国や朝鮮は仏教についての考え方が違うので、いろんな葬儀のやり方があって調べておもしろかったです。日本でも地方によっては火葬のやり方が違う。遺体を焼いた後の骨について。お骨に呪術性や聖性を感じるといっているのは日本だけの様です。古代インドではお釈迦さんを焼いたあとの骨を「仏舍利」として尊んだが、一般にはありえないことである。完全に灰になすか少々骨は残っても灰にする。我々は骨の部分部分までやかましくいう。喉仏などはそのさいたるもの。学者は骨というものに極東アジアの原始的な宗教の名残を感じているからだと聞いています。▼こんな本を読んで感じたことは、日本の仏教というのは、神学的には矛盾がいっぱいある様に感じた。しかし我々はちっとも頓着しない。戒名がどうだ、墓石が大きい小さい、墓相がどうのこうのと葬式屋さんの言うとおりでないのか。仏教もそれにまきこまれていく、としか私には見えません。こんなことをやっていたら日本の仏教はいつか絶えてしまいはしないか、とは私の読書感である。